

平成30年8月7日実施

名古屋市立大学大学院医学研究科博士課程外国語試験(1回目) 日本人－英語

問題1 次の文章を読んで、以下の問1～4に答えなさい。

この部分に掲載されている文章に就いては、著作権法上の問題から掲載することができませんので、ご了承ください。

出典: Nature 558, 5-6 (2018) (doi: 10.1038/d41586-018-05323-6) より抜粋・改変

問1 下線部(1)を和訳しなさい。また、'this model of precision oncology' が標準治療より優れている点を2つ、本文より抜き出しなさい。

(次頁に問2～3が記載されています)

問2 下線部(1)中の 'from bench to bedside' について、英語で具体的に言い換えなさい。

問3 臨床応用するために、さらに必要とされる「precision oncology」に関する研究領域(内容)を本文より具体的に4つ、日本語で挙げなさい。

(次頁に問4が記載されています)

問4 本文にある 'Precision Medicine' と従来から言われている 'Personalized Medicine' との違いを、日本語で簡単に説明しなさい。

問題2 次の文章を読んで、以下の問1～11 に答えなさい。

この部分に掲載されている文章に就いては、著作権法上の問題から掲載することができませんので、ご了承ください。

From *HOW THE MIND WORKS* by Steven Pinker.

問1 空所(1)を埋めるのに最も適切な表現を次のうちから選び、その番号を記せ。

- |   |              |   |                |
|---|--------------|---|----------------|
| 1 | progress     | 2 | predictions    |
| 3 | random turns | 4 | probable moves |

\_\_\_\_\_

問2 空所(2)を埋めるのに最も適切な表現を次のうちから選び、その番号を記せ。

- |   |        |   |       |
|---|--------|---|-------|
| 1 | all    | 2 | large |
| 3 | length | 4 | most  |

\_\_\_\_\_

問3 空所(3)を埋めるのに最も適切な表現を次のうちから選び、その番号を記せ。

- |   |          |   |               |
|---|----------|---|---------------|
| 1 | by fair  | 2 | cheat us      |
| 3 | amuse us | 4 | be repetitive |

\_\_\_\_\_

(次頁に問4～8が記載されています)

問4 空所(4)を埋めるのに最も適切な表現を次のうちから選び、その番号を記せ。

- |   |             |   |                |
|---|-------------|---|----------------|
| 1 | in pride    | 2 | in despair     |
| 3 | to my shame | 4 | to my surprise |

\_\_\_\_\_

問5 空所(5)を埋めるのに最も適切な表現を次のうちから選び、その番号を記せ。

- 1 but could only hope for a sunny day
- 2 and were likely to have good weather
- 3 and the bad weather was likely to continue
- 4 but couldn't tell when it would stop raining

\_\_\_\_\_

問6 空所(6)を埋めるのに最も適切な語を次のうちから選び、その番号を記せ。

- |   |       |   |        |
|---|-------|---|--------|
| 1 | first | 2 | fourth |
| 3 | tenth | 4 | final  |

\_\_\_\_\_

問7 空所(7)を埋めるのに最も適切な語を次のうちから選び、その番号を記せ。

- |   |        |   |        |
|---|--------|---|--------|
| 1 | change | 2 | follow |
| 3 | look   | 4 | work   |

\_\_\_\_\_

問8 空所(8)を埋めるのに最も適切な1語を記せ。

\_\_\_\_\_

(次頁に問9～11が記載されています)

問9 空所(9)を埋めるのに最も適切な表現を次のうちから選び、その番号を記せ。

- 1 patterns into predictions
- 2 predictions into patterns
- 3 patterns into randomness
- 4 randomness into predictions

\_\_\_\_\_

問10 下線部(10)を和訳せよ。

問11 空所(11)を埋めるのに最も適切な表現を次のうちから選び、その番号を記せ。

- 1 to follow the observed patterns
- 2 to meet gamblers' requirements
- 3 to defeat our intuitive predictions
- 4 to remind us of the regularity of nature

\_\_\_\_\_



平成30年8月7日実施

名古屋市立大学大学院医学研究科博士課程入学試験(1回目)

医学・生物学一般問題(問題用紙2枚、解答用紙2枚)

以下の問題1～問題4のうち二つの問題を選択して解答しなさい。一つの問題につき1枚の解答用紙を使用しなさい。紙面不足の場合は解答用紙の裏面を使用してもよい。

問題1 不育症について、その原因と病態、それぞれに対する治療、および原因不明の病態について述べなさい。

問題2 利益相反について以下の問1～2に答えなさい。

問1 医師あるいは医学研究者にとって利益相反による問題が生じ得る状況について、例を挙げて説明しなさい。

問2 臨床研究における利益相反管理の目的と手順について説明しなさい。

問題3 以下の問1～2に答えなさい。

問1 エピジェネティクスの概念について、例を挙げて説明しなさい。

問2 単一性遺伝子疾患の遺伝形式を全て挙げ、それぞれについて説明しなさい。

(次頁に問題4が記載されています)

問題4 医療事故調査制度は平成27年10月1日から施行されている。以下の問1～3に答えなさい。

問1 制度の目的を述べなさい。

問2 制度の運用について具体的に述べなさい。

問3 医師法 21 条の「異常死の報告義務」との相違を述べなさい。